

AALA ニュース 第 154 号

内容紹介

01 日本 AALA 代表の第 19 回非同盟首脳会議への参加報告

「西側支配の世界秩序の変革へ、グローバル・サウスの声を結集」。参加した箱木五郎事務局長と鈴木啓史国際部員による報告と田中国際部長の解説（日本 AALA 機関誌 4 月号に掲載）

02 新藤通弘「ウクライナ問題の本質を考える」

「一刻も早い停戦」がなぜ必要なのか。日本共産党の志位委員長の上田市での講演での発言に関連し、さまざまな角度から和平とロシア軍の撤退問題を掘り下げる。

03 I・カチャノフスキ「偽旗マイダン虐殺を裏付けた裁判判決」

2014 年 2 月 20 日、キエフの独立広場で起きた市民「虐殺」事件（マイダン革命）は、極右勢力と結託した反政府勢力の狙撃手によるものだった。審理した裁判結果（昨年 10 月 18 日）の判定。

04 北海道 AALA 「新春対談、羽場久美子さんの話に感想 2 編」

日本 AALA 機関誌一月号に掲載された国際政治学者、羽場久美子さんと日本 AALA 代表理事の宮城恭子さんの対談に大きな反響がありました。そのうち北海道 AAL の機関紙に紹介された感想 2 編。

05 その他の記事は「鈴木頌 AALA ニュース編集日記」で参照で

きます（[aala_news](https://livedoor.jp/aala_news) の編集日記 (livedoor.jp)

